

令和元年度重点目標（学校教育分野） 第2次飯田市教育振興基本計画

ビジョン 地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり

自然、文化、歴史、結の心を大切にした人とのつながりなど、この地域が持つ人を育む力で、ふるさとに誇りと愛着を持てる人を育む。

グローバルな視野と、自分とは違う地域、文化、考えの人たちを認める多様性を育み、Local（地域）と Global（地球）を、一体的・系統的に学んでいく。

自分のよいところを認め自己肯定感を抱き、他者をいたわり、お互いがお互いのよいところ認め合うことで、共に生きていける心を育む。

【重点目標①】 すべての子どもたちが輝く学校を地域ぐるみで創ります

【重点目標②】 地域と日本と世界を結ぶ「LG（地域・地球）飯田教育」を推進します

【各学校の教育目標にある「個の確立」と「相互承認」との連動】

6つの重点取組み

① 学力保障・向上

▲小学校から中学校での伸び悩み
▲各教科での活用問題

Ⅲ 学力向上「結い」プランの徹底
①明確な“ねらい”を持って進める
②学びを深める“めりはり”のある学習活動
③ねらいの達成を“みとどけ”る
Ⅲ 「互いの良さを認め合える」授業づくり

Ⅲ 計画性をもった家庭学習
Ⅲ 社会に開かれた教育課程
○外部人材を活かした学習活動の充実
○学習の場を、地域に求め開いていく

③ 体力向上

成果 ○小中学生・男女、昨年度を上回る
○小学生男女・中学生女子、最高値

Ⅲ 一校一運動の推進

Ⅲ 授業以外での取組の充実
○やまびこマーチ、風越登山マラソン等との連携

Ⅲ 運動部活動の新たなあり方
○部活動の延長として社会体育の廃止
○2020 年8月末まで試行期間

④ 特別支援教育

Ⅲ 副学籍による交流と共同学習の推進
○副学籍校における障害者理解教育の推進

Ⅲ 「学びの教室（LD等通級指導など）」の充実
○学びの教室と所属校との継続的支援を充実させる

Ⅲ 「特別支援学級」の専門性の向上
○自立活動の充実のため、専門性の向上を図る

Ⅲ 地域とともに、多文化共生社会をめざす



② 人間関係づくり（不登校対策）

▲不登校在籍比の高止まり
▲小学校での増加傾向

Ⅲ 5つのアクションプラン
○「学級づくりの強化」につながる研修会
○SSW（スクールソーシャルワーカー）との連携
Ⅲ 予防的な取組／迅速な初期対応
Ⅲ 「互いの良さを認め合える」集団づくり

Ⅲ 居場所づくり
○「自分に自信が持てる」体験学習の充実
Ⅲ 選択的・学びの場づくり
○ICTの活用など、柔軟な考え方による実践

⑤ 外国語教育

Ⅲ 「small talk」 and 「Goal」のある授業
○言語活動の充実を図る“small talk”の実践
○“Today’s Goal / Lesson Goal”の明示

Ⅲ ALT との協働
○ALTと協働し担任がリードした TT による授業づくり

Ⅲ ICT の活用
○電子黒板、遠隔授業など、ICTの効果的な活用

Ⅲ （今後／地域の人材、資源とどう連携・協働していくか？）

⑥ ICT教育

Ⅲ 3つの教育課題にむけた取組
①少人数、小規模学級における多様性の育成
②特別支援学級、不登校児童生徒への学力保障
③グローバル化に対応できる思考力・判断力・表現力の育成

Ⅲ ICTの利活用のポイント
①分かりやすく伝える 今年度重点
②学びを個別化する 【個の確立】への支援
③学びを協働化する 【相互承認】への支援

Ⅲ （今後／地域の人材、資源とどう連携・協働していくか？）

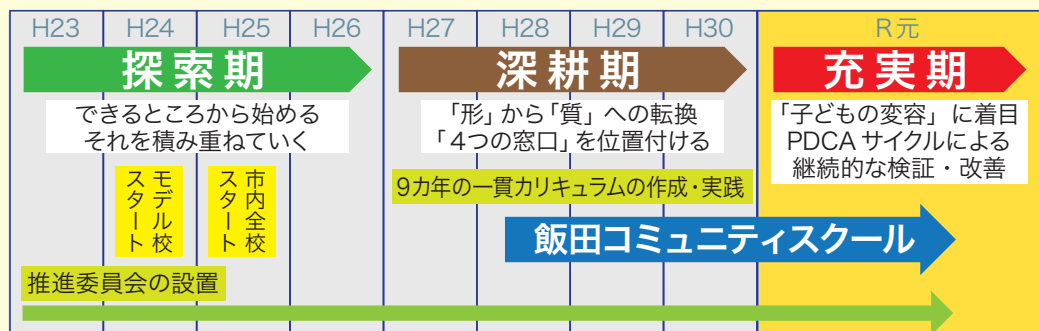
2つの基盤づくり

【縦糸】と【横糸】は、飯田市の教育をすすめる基盤（OS）

Ⅲ 縦糸 小中連携・一貫教育

連続した学びの“縦糸”

平成23年度から、「学力・体力の向上」と「不登校問題などの教育課題」を解決するために、義務教育9年間を見通し、小・中学校が連携した教育活動がスタート。「探索期」、「深耕期」を経て、令和元年度より「充実期」とする。



Ⅲ 横糸 飯田コミュニティスクール

地域と保護者の力の“横糸”

平成28年度末より、“善い地域が善い学校をつくり、善い学校が善い地域をつくる”を合言葉にスタート。学校・地域・保護者等が「めざす子ども像」を共有し、お互いが力を合わせて地域に根差した学校をつくる。

CSの役割りの特徴	文科(国)型	飯田CS	信州型
学校運営方針の承認	○	○	-
職員任用への意見具申	○	-	-
学校評価	-	○	○
学校支援	-	○	○
協議会委員の構成	-	公民館館長・主事	-

